

【令和 7 年度 事業計画(案)】

社会福祉法人 心和会

事業計画書（案）

【 障がい者支援事業 】

【基本方針】

- 1、障がい者の日中における活動の場を確保し、日常的に介護をしている家族の一時的な休息を供与し、障がい者及びその家族の地域における日常生活及び社会生活を支援する。
- 2、障がい者及びその家族の意思・人格を尊重し、常に障がい者及びその家族の立場に立ったサービスの提供に努める。
- 3、関連サービスとの連携、福祉、医療、保健その他の関連領域と積極的な連携を図り、協力を努める。

【施設の概要 （令和 7 年 3 月 1 日現在）】

施設の名称	共生型生活介護ばるばる
所在地	熊本市北区植木町鞍掛 1521 番地 1
種類	共生型生活介護
定員	20 名（令和 7 年 3 月 1 日現在 平均 11 名）
管理者	田中健一
業務内容	自立した日常生活又は社会生活を営む上で、食事や入浴、排せつ等の介護や日常生活上の支援が必要な方たちに、生活介護の場を提供することを目的とする。その中で、日常生活上の支援や、入浴、排せつ及び食事の介護、創作活動の機会の提供、日常生活における相談等を行う。 令和 2 年 12 月より共生型生活介護となり、介護保険での、要介護 1～5 までの利用者サービス受入が可能となる。

【ケア方針】

- 1、職員が一丸となり、達成感や自信を引き出せるよう支援を行う。
- 2、温かい心のこもった関わり、支援が出来るよう努める。
- 3、利用者が安心して通所できるよう、常に安全で明るく清潔な環境作り、職員と利用者が信頼しあえる家庭的な環境作りに努める。
- 4、事業所内外での勉強会や各種研修等に参加し、知識、技術の向上に努め、自信と信頼をもちまた、統一した支援・質の高い支援が出来るよう努める。
- 5、趣味やレクリエーション、創作活動等を通して日中活動の充実を図り、利用者本人のもてる力が発揮できるよう支援する。
- 6、利用者一人ひとりの生活・障がいの状態をよく理解した上で、利用者本人が自己決定出来るよう利用者中心の支援をする。
- 7 家庭や社会資源との連携を密にし、基本的生活習慣の確立と自立を目的として社会性や協調性を養い行動できるよう支援する。

【具体的支援】

個別支援計画	サービス管理責任者
支援内容	生活支援（食事、排泄、入浴、整容、清掃等） 作業支援（生け花、お菓子作り等）
余暇活動支援	（行事、社会経験、レクリエーション、DVD鑑賞等）
健康管理	（定期健康診断、健康体操、服薬管理等）
行事計画	（お花見、施設見学、日帰り旅行、買い物、クリスマス会、初詣、季節を楽しむ行事、地域の夏祭り、避難訓練、もちつき、誕生日会） ※ コロナ禍において、検討中の行事も含む

【ご利用者さま受入について】

熊本市全体として、重度心身障がい者の受入が大変困難になっている。主に受入が困難な障がい者を積極的に受入れるような体制を目指したいと考える。
また、利用者の平均 13 名前後の利用者が確保できる体制づくりを目指したいと考えます。

【職員研修】

職員の資質向上を図るため、積極的に研修会に参加する。また、内部研修に関しても体系化し職員の倫理的資質と専門性の向上を目指す。

【安全・事故防止計画】

- 1、ヒヤリハット、アクシデント報告書を提出し、分析を行い、事故の再発防止に取り組む。万が一、事故があった際には、早急に家族等に連絡をし、迅速な対応を行う。
- 2、家族からの要望や苦情などの声をもとに法人全体でサービスの向上に努める。また、ヒヤリハット、アクシデント報告書の分析や事故防止対策委員会を定期的で開催し、結果を基にヒューマンエラーを可能な限り防止すると共に、利用者の安全管理を徹底する。

【個人情報保護】

- 1、個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨をふまえて、保護・共有していく。
- 2、利用目的については、契約書等に記載すると共に、説明し、同意を得る。

【地域交流】

- 1、地域の小中学校との交流を行う。
- 2、地域の保険・医療・福祉サービス、さらに地域福祉を目的とする各種団体・個人との綿密な連携を行う。

【その他】

少子高齢化に伴い、障がい者サービスでも宿泊できないか？との問合せがあります。

6年度に検討していた、高齢者ショートステイを共生型サービスとして、障がいの方の受入れですが、現在も進行中であります。

【 高齢者福祉サービス事業 】

1. 利用者の方が安心して、穏やかに過ごせるよう、1人ひとりとしっかりと向き合う時間を大切にし、関わりの中で得た個人のやりたいこと、興味等を尊重。「自己選択・自己決定」でき、主体的な活動ができるよう支援する。

- (1) 利用者一人ひとり、できないことだけでなく、できることも明確にする。
- (2) 利用者に対し「理解する」という気持ちで接する。
- (3) 利用者が何を望んでいるかという気持ちで接する。
- (4) 利用者の気持ちを読み取り、自己決定力を引き出す。
- (5) 利用者の「できること」を見つけ、自立支援につなげる。

2. 入所者や家族が大切にしてきた事、望んでいる生活、安心して満足できるケアの実施

- ・利用者や家族が大切にしてきたこと、望んでいる生活、安心して満足できるケアの提供を行うために職員間で1人ひとりをよく理解し、共感した上でサポートできるよう職員同士で情報を共有し、情報を活かした介護計画の立案、提供、評価を行う。その過程をとおして、チームでどのように利用者を支えていくのかを検討し、「自分らしい生活」が送れるよう支援する。

3. 入所者の持つ可能性を引き出していけるような関わりと関係作りに努める

- ・利用者の持つ可能性を引き出しでいけるような関わりと関係作りをし、個々の思いや考えに副った個別ケアを充実させ、「楽しめる・楽しかった」「やってみたい、またやってみよう」と思えるよう支援していく。

4. 安心できる統一されたケアを提供する。

- ・チームケアで個別ケアを実現する。
- ・チームケアを行うために、職員間の意識改革・介護技術の向上・知識の統一性を図る。
- ・「安心・安全・安楽な介護」の提供を行うために、施設全体でケアの内容を検討し、情報を共有し、統一されたケアを提供する
- ・利用者のADLの変化など個々の状況を把握し、可能な限り身体拘束をしない事故防止プランを全体で考え実行します。
- ・個別機能訓練の実施
 - ① 福祉用具を上手く活用しながら、個々に応じた対応を心がけ、生活意欲の向上

や事故回避に努める。

- ② 機能訓練指導員との連携をはかり「しているADL」「できるADL」を行うことで、残存機能の維持に努める。

5. ボランティアを積極的に受け入れ、地域社会との繋がりを深めていきます

① 受け入れについての基本的な考え方。

- (1) 施設の社会化を目指します。
- (2) 福祉教育、ボランティア体験の場の提供。
- (3) 提供サービス及びお客様の生活の質の向上。

6. ご家族との連携により、お客様者の精神的な安定を図っていきます。

- ・利用者及びご家族が、現在も利用者自身が家族の一員であることが実感できるように、定期的に自宅に外出、外泊を行い家族関係の維持に努めます。
- ・ご利用者と職員、ご利用者とご家族、ご利用者同士などのふれあいの場を設け、充実した生活を送っていただけるよう支援いたします。

7. 職員の質の向上について

- ・利用者に寄り添うためのコミュニケーション能力を向上させる。
- ・利用者の気持ちを「理解する」という能力を向上させる。
- ・利用者が何を望んでいるかという視点を向上させる。

8. 余暇活動の充実について

- ① 季節の行事を実施するとともに、趣味活動等の内容の充実を図る。
- ② 意欲低下防止や残存機能の活用を目的に、専門指導員による音楽療法を実施する。
- ③ 毎月誕生会を行い、利用者全員で誕生者を祝い会食会を設ける。
- ④ 生きがいづくりと喜びを見出すために、ふるさと訪問やショッピング等の外出を行なう。

9. 季節行事

月	行事名	内容
4月	お花見	施設車両を使ってお花見に行きます。長時間の外出が困難なご利用者には、施設周辺の桜を楽しんでいただきます。

5月	端午の節句 菖蒲湯	五月人形を飾って端午の節句を祝います。 菖蒲湯を楽しんでいただきます。
6月		
7月	七夕	願い事を短冊に書き、笹の葉に飾ります。
8月	納涼祭	祭太鼓にあわせての盆踊り、模擬店を楽しんでいただきます。お食事はバイキング形式で実施します。ご家族、ボランティア、地域の皆さんとともに暑さを吹き飛ばします。
9月	敬老会	健康と長寿をお祝いします。お食事は特別食をご用意します。
10月		
11月		
12月	ゆず湯 クリスマス 忘年会 もちつき	寒さや風邪に負けないようにゆず湯で温まります。 施設内にはクリスマスツリーを飾ります。 一年の締めくくりとして、また、新しい年の皆さんの健康・長寿を祈ります。お食事はバイキング形式で実施します。 職員と家族とご利用者が協力して、もちつきをします。
1月	初詣	ご希望者に対して職員等が付き添い、近くの寺や神社まで初詣に出かけます。
2月	節分	災いを追い払い、福を呼び込むために、豆まきをします。
3月	ひなまつり	ひな人形を飾り、春の到来を喜びます。

※ コロナ禍による、検討中の行事も含む

10. その他

- ① 外国人人材紹介（農業）を紹介しています。 繁忙期のみの期間限定の派遣紹介も行っています。
- ② 地域えんがわ事業として、植木中心部に、外国人と日本人の交流スペースを計画しています。Café スタイルのお店で、日本文化の紹介や行政サポート、日本語教育を交えた交流の場を考えております。

